

SiNAPIS ニュース

社会活動センター・シナピスは平和を實現する使命に向けて生きる人びとを応援します

No.68 2021. クリスマス号

“すべてのいのちを守ろう” 

— 誰も置き去りにしない世界に向けて No one will be left behind —

2021 年正義と平和大阪大会テーマ



「さあ、ベツレヘムへ行こう。主が知らせてくださったその出来事を見ようではないか」

ルカ2・15

カトリック大阪大司教区 社会活動センター **シナピス**



地上でもっとも小さいといわれている種子、それがシナピス(からし種)です。
イエスは神の愛がすべての人におよび、互いに尊重し合い、愛し合うように願って平和の種をまき、
やがて鳥が巣をつくるほどの大きな木になると約束しました。

TEL 06-6942-1784 FAX 06-6920-2203 E-mail sinapis@osaka.catholic.jp

巻頭言

今年もありがとうございました。

センター長 松浦 謙

ブラジルにいた神父さんから聞きました。

クリスマスのミサで、愛 ゆるし 親切 平和 飢え 差別 憎しみ 争いと書いたカードを持った8人の子どもたちが、前に出てきて一人ずつ宣言したそうです。

愛のあるところ、そこにイエスは生まれています！

ゆるしのあるところ、そこにイエスは生まれています！

親切のあるところ、そこにイエスは生まれています！

平和のあるところ、そこにイエスは生まれています！

飢えのあるところ、そこにはまだイエスは生まれていません。

差別のあるところ、そこにはまだイエスは生まれていません。

憎しみのあるところ、そこにはまだイエスは生まれていません。

争いのあるところ、そこにはまだイエスは生まれていません。

クリスマス。世界のあらゆるところでイエス様が生まれますように！



■ ニュースレター 目次 ■

- 1 巻頭言
- 2 越年越冬のお知らせ 釜ヶ崎&神戸
- 3 クリスマスメッセージ
- 9 皆さまのご支援に感謝申し上げます。
- 11 あとがき

■ 同封資料・ご案内 ■

カトリック時報 クリスマス特集号
越年越冬のお知らせ 釜ヶ崎&神戸
第4回 死刑制度を考える
シナピスクリスマスカード

越年越冬のお知らせ 釜ヶ崎&神戸

◆◇◆釜ヶ崎より◆◇

コロナ禍に翻弄された2021年が終わろうとしています。昨年の越冬闘争は残念ながら、コロナによって取り組みの縮小を余儀なくされました。今年は昨年の縮小の無念さと、未だ先行きの見えない状況の中で細心の注意を払いながら議論・準備が展開されています。



今年も越冬闘争は闘われます。私たちは「釜ヶ崎へ行けば何とかなる」という想いに応え続けてきたこの街の良さ（多くの人たちの想い）＝「伝統」を守ることによって、今この街に暮らすなかまとともに、これからも流れ着くであろう仲間たちを守っていければと思います。

今年の越年越冬も、目の前でなかまたちが餓死・凍死するのを防ぐとともに、この街がすべての個人にとってやさしく住みやすい街となるように、人権と平和を求めてそれに反するような行政施策、国の政治を見据えながらなかまたちの団結を創り出し、声を上げていく越年越冬になればと願っています。

三角公園にて開催します。

- 突入集会 12月28日（火）18時00分
- 炊き出し 12月28日（火）～1月3日（月）
- 医療パトロール 12月28日（火）～1月3日（月）集合21時45分
- 人民パトロール 12月30日（木）～1月3日（月）出発20時
- 餅つき大会 1月2日（日）11時
- ステージ上の企画 通常のステージライブは行いませんが、感染状況を見ながら実行委メンバー、地元の人たちによる企画を考えています。

*コロナ感染拡大の状況によって急遽変更することがありますので、ご了承ください。

◆◇◆カトリック社会活動神戸センターより◆◇◆

第27回越年・越冬を下記の日程で行います。今回もコロナ禍の中、感染症対策に注意を払いながら取り組みを進めていきます。

2021年12月28日（火）～2022年1月4日（火）

時間：午前10:00～午後2:30頃（テントの設営、炊き出しの準備等）

場所：東遊園地（神戸市役所南端）

主催：越冬越年実行委員会

内容：「炊き出し」「生活相談」「医療相談」「法律相談（弁護士・司法書士）」

「追悼の日」（12/29 予定）



*感染状況の変化その他諸事情によって、取り組みの内容が大幅に変更することもあります。

また、今年もボランティア参加は一般に呼び掛けていません。

ぜひカンパでのご支援をお願い致します。

郵便振替：00910-5-141408（カトリック社会活動神戸センター）

シナピス運営委員会から クリスマスメッセージ☆≡



カリタスジャパン担当 松永 敦



「はじめにひかりがありました。ひかりは哀しかったのです。ひかりはありとあらゆるものをつらぬいて流れました。あらゆるものに息をあたえました。にんげんのころもひかりのなかにうまれました。いつまでもいつまでもかなしかれと祝福されながら。」
クリスチャン詩人八木重吉の作品です。この詩を読んで、社会の中で置き去りにされた人々のことを思いました。主の降誕を心から喜び迎えることができなかつた人々の顔。表には出さないかなしみにキリストによって繋がっていることを教えてくれているようです。

光の中を歩いていきましょう

部落差別人権委員会担当 長崎 壮

「闇の中を歩む民は大いなる光を見、死の陰の地に住む者の上に光が輝いた」(イザヤ9:1)
今年は昨年が続いて世界中で新型コロナ・ウィルスに翻弄された一年となりましたが、正義と平和全国大会のリモート開催をはじめ教会の活動も少しずつ始動し、光が見えてきたようです。
主の御降誕がもたらす恵みによって来たるべき年が全ての人にとって光の中を歩む一年となりますように。そしてこれから始まるシノドスの取り組みをともに考え、祈り、実りあるものとなるようにいけるよう頑張らしましょう。

船員司牧担当 エリック・デ・グスマン

主のご降誕のお慶びを申し上げます。

コロナウイルス感染症が広まってから私たちはイスラエルの民のようにコロナの終息という救いをずっと待っています。神様からの救いがいつ来るかわかりませんが、こんなときにも私たちとともにおられる神様に小さなことも大きなことも感謝しながら、今年のクリスマスと新年を心から過ごしお祝いしたいと思います。これからも、船員司牧活動にご指導とご支援のほど、よろしく願い致します。



外国人司牧担当 デンニ・ワユデイ

クリスマスといえばと、子どもたちに聞いたら、サンタさんやプレゼントなどと答えます。ある幼稚園の聖劇を見たとき、最後にみんなは箱に入れた献金を幼子イエス様に捧げました。愛の実践をするという教えが伝わりました。数年前の動画で見た内容は世界中から届けられたクリスマスプレゼントを開け、大喜びするアフリカの子どもたちです。大歓声と純粋な笑顔に感激しました。子どもたちの笑顔を見られるということが、わたしたちにとっての最高のクリスマスプレゼントです。

”Happiness is fulfilled when it is shared”

「分かち合うことによって、喜びは満たされる。」 Merry Christmas.



守護の天使の姉妹修道会 去来川 久代

わたしが彼らのうちにおり、あなたがわたしのうちにおられる。

(ヨハネ17:21)

一人一人の中に受肉された生身の人間の中にイエス・キリストはおられる。イエスの誕生が物語っているように今、苦しみ、悲しみ、泣いている人、国を追われた難民、原発事故によってふるさとに戻れない人たち、コロナ禍で仕事や住まいを失った人たちなど、谷間に置かれた人々を通して救いが始まっている。上から目線では見えない主の訪れ、イエスの誕生で真っ先に貧しく弱くされている羊飼いたちを通して救いのメッセージが語られたように今も神は、貧しく弱く小さくされた人々の中で働き続けておられます。その光に照らされ導かれ連帯しながら歩んでいきたいですね。



障がい者委員会 石井 望

新型コロナ・ウィルス下の生活で様々なことを考えさせられました。IT技術などで便利になればなるほど、それを享受しない人たちは享受する人たちの意識の外に置かれたり差別の対象になることもあります。この二年間、私は大阪と紀伊田辺の間を頻繁に車で往復し、地球温暖化にどれだけ貢献したことでしょうか。シナピスのクリスマス・カードを作りながら、しょせん「対岸の火事」を眺める立場の自分、何かをしても「罪滅ぼし」にさえならないと感じます。御降誕と聖家族がおかれた境遇に思いを馳せながら、そんな中に救いの出来事を計画された神慮に驚きます。



阿倍野教会 嶋田 至

クリスマスおめでとうございます。

教皇は回勅『兄弟の皆さん』のなかで、平和は「骨の折れる手仕事」だと書いておられます。また「異なるものすべてを組み入れることは困難で時間がかかること」だとも。でも、そんな手仕事を地道に続けていくことでしか本当の平和は得られないのでしょうか。

終わりの見えないコロナ禍のなか、不安や戸惑いは消えることはありません。分断が生じやすい時代だからこそ、私たちは多様な人たちと出会い、対話のなかで理解を深め、ともに道を切り拓いていくために支えあい励ましあうことが大切だと思います。

平和への手仕事とともに携わっていきましょう。



六甲教会 宮内 陽子

私たちは闇の中を歩んでいます。私たちを取り巻いているのはいつ終わるとも知れないパンデミック、引き返せないレベルに近づいている環境破壊、途方もない格差、権力者による人権の抑圧、不正の隠蔽、社会的弱者に向けられるヘイトなどなど、書いているだけで気が滅入る真っ暗で深い闇です。2千年前の民もまた、今とはまた別の、でも同じように深い闇の中を生きていたのでしょうか。そのころ、冷たい飼葉おけの中に一人の幼子が生まれました。幼子は長じて十字架の死を迎えます。その生き方は、今も私たちを照らしています。闇が深いほど、光は輝きます。



垂水教会 野村 季里

今我が家のリビングにはシナピス工房で手作りされたかわいいクリスマスグッズが飾られています。子どもが成人してからは飾り付けもしなくなりましたが、ほんの小さな手作りの飾りが殺風景なリビングをととても暖かくやさしい雰囲気にしてくれています。

作られた方のお気持ちが伝わってくるようです。

コロナ禍も2年になり人との距離を保つことにも慣れてしまったような気がしています。でも、大切な人を思う気持ちに距離は無いと思っています。

会うことはかなわなくても大切な人を思いながら主のご降誕をお祝いいたします。



堺教会 梶原 隆憲

メリークリスマス

教皇様の「ラウダート・シ」実現に向け世界は動く！

COP26 で気候変動対策が議論・加速、グレタ・トゥーンベリさんをはじめ若者の声も力強く、日本も 2050 年迄に二酸化炭素 0、齋藤幸平のグリーンニューディール・脱成長等、光を感じる。
(「新しい火力発電発言」で周回遅れの非難はあるけども)

沖縄の基地建設問題では着工から 3 年、8% が埋められたが完成まで 12 年かかる。沖縄防衛局と玉城デニー知事の戦いは続き「大浦湾側の軟弱地盤の設計変更を（完成迄 12 年かかる）不承認、これに対し国は、行政権の著しい乱用だとして提訴・・裁判」・・光は見えない。

先日、わが教会でベトナム式の大きい馬小屋がお庭に完成した。地元では 1 ヶ月かけ会場を準備する、シスターのスマホの完成画像はテーマパークさながらである。高齢化する日本社会に外国の若者は日本の若者と同様、光である……。大切にしましょう。



社会活動神戸センター 山野 真実子

待降節に入ってすぐのこと、あることがきっかけで親しいグループの中に亀裂ができてしまった。許すにも、ガマンするにも程があると怒り心頭の様子。同じ良きことを願って集まったのに和解の隙間が今はまだ見えない。縁あって同じ神を信じる者同志となったのにである。幼子はこの世界に和解をもたらすためにお生まれになったはずなのに、よりもよって今？と思ったけれど、私たちの世界はいつもこんなことの繰り返し。だからこそ毎日和解の主を待ち望み、だからこそ毎日私たちの中にクリスマスを迎えたいと思った。コロナによって騒々しいクリスマスが消えた。ほんとうのクリスマスを共に味わえますように！



シナピス事務局スタッフから クリスマスメッセージ



寂しいなと思いながらひとり食事をした。

寂しいなと思いながら、ひとりでテレビをみた。

床に就くときに、不安で押しつぶされそうになって眠れなくなる。

今日も誰とも会話をしなかった。今日は失敗ばかりだったなと落ち込んでいる。

カーテンに囲まれたベッドで、点滴の一滴一滴を眺めながら今日も過した。

ちょっとした瞬間にも、不安に襲われることがある。 このようなことばをよく耳にしました。

悲しい大きな出来事もありましたが、表からは見えず、気づかないところで苦悩を抱えた人たちがいるということも忘れてはいけないなと感じています。 救い主の誕生が希望の光となりますように。

シナピス事務局 原慶子



クリスマスおめでとうございます。

シナピスホームも一年が経ち沢山のお客様にお越しいただきました。

ホームでは難民移住者のみんなとクリスマスの飾り付けをしました。

マリア像や十字架を一生懸命きれいに拭いて大切に飾り付けをしてくれる姿を見ると、宗教は違えど神様のご降誕を祝う気持ちはみんな一緒なんだと実感しました。どうぞ、皆様の上に幸せが降りますように。

シナピスホーム 山田直保子



8月から事務局スタッフに加わりました右知子です。

この一年はコロナや世界の紛争を目の当たりにし自分に出来ることを考える日々でした。

そんな時、高齢のシスターから「実際に行動をする事は難しくても、私たちには希望を持って祈る事ができる」と言われました。救いを信じて待ち望む人のためにこれからも祈る事を忘れず救いを信じて行動し続けようと思います。

シナピス事務局 右知子





クリスマスおめでとうございます。

今年も色々な出会いがありました。フィリピン人女性ジュンさんとの出会い。病に倒れ、多くのものを失ったと言う彼女の、あふれる命の力に圧倒されました。オンライン開催になった「正義と平和大阪大会」。遠く離れていても、共に気持ちを合わせて祈りを捧げることができると知りました。そして、シナピスにかかわる人々との忘れ難い出会い。その一人ひとりの顔を思い浮かべながら、主のご降誕を祝いたしたいと思います。

シナピス事務局 川本綾



クリスマスおめでとうございます。

先月行われた正義と平和全国集会大阪大会にご協力をいただきありがとうございました。事務局として至らぬことばかりでしたが、多くの方のお祈りに支えられ実り豊かな大会になりました。この時の学びを今後の生き方に繋げたいと思います。誰も置き去りにしない世界が来ますように。



正義と平和事務局 嶋田伊都子



12月、アフガニスタン人の父親から電話がありました。8歳と6歳の子どもを連れてタリバンの迫害からイランへ逃れ、親戚を頼りましたが、疎んじられ、あてがわれた寝床は倉庫でした。

「電気も毛布もない。子どもたちが寒い寒いと言っている。」

2千年前のあの夜、馬小屋で出産するしかなかった聖家族がどれほど惨めでひもじかったらう、と思いを馳せています。

クリスマス、誰もが人に優しい気持ちになる時。聖家族と難民と姿が重なります。

シナピス事務局 ビスカルド篤子



今年も一年間シナピスの活動にご理解ご協力を頂き誠に有難うございました。

みなさまのご支援なしには私たちの活動は成り立ちません。

どうぞよいクリスマスをお過ごしください。



みなさまのご支援に、心より感謝申し上げます



2020年12月1日～2021年11月30日にご寄付いただきました方々(五十音順・敬称略)

■ 個人

青木京子 青山俊子 赤波江豊 芥川眸 浅井理子 浅野献一 アマンダ・ブラッドリー 荒木奈津子
 アリゲイル 有光国人 有村洋 飯塚弓子 伊賀麻理子 生田千津子 池田公子 池田揚子 石井淑子
 石光敏子 石井望 市田一恵 一ノ瀬絢子 伊藤雅子 伊藤順子 伊藤靖子 稲垣緑 井上佐治朗 井上千寿代
 今泉泰介 岩崎旭 上杉陽子 上田道子 上羽 上原良蔵 上林 上松陽子 Wenson Tamara 鶺鴒聖子
 浦洋子 浦口英子 江口紀昊 榎本良子 親川エマリン 大瀬良シゲ子 大永壽々子 大畑京子 大森真樹子
 大山洋子 岡田京子 岡登志子 岡本みどり 荻野武治 奥田慎吾 小田一俊 笠松ひろみ 笠村容子
 鹿嶋節子 堅田晃典 香月信子 加藤義雄 加藤章子 加藤清子 角前チエ子 蟹谷有架 兼松千佳子
 鎌田和政 釜本美子 亀井 河野昭信・鞠子 河野美奈枝 川福由美子 川本絹代 閑歳三紀子 姜文順
 菊岡理義 黄田ローザ 北川三裕 北田悦子 北浜ミスエ 北村良子 衣笠さや子 儀間亜紀 木村道子
 清田美和子 喜代永文子 桐藤直人 金亜美 グエン・マイ・ティ 具文浩 楠木慈子 窪田紀子 汲田廣子
 勝一美 黒田豊夫・玲子 桑野しのぶ 高スサンナ 高賛侑 小池栄子 小池幸子 小久保喜以子 小島千鶴
 小西正人 笠村容子 コバヤシチカコ 小柳伸頭 コロン由子 コンドウノブタカ 近藤英子 近藤由紀
 斎藤作子 酒井幾美 栄 坂上富士夫 坂田進 櫻井茂子 佐々木尚代 佐藤ちい子 佐藤秀子 佐藤博 高見
 芝たき子 島上さく 清水方恵 下田安恵 下永照 全泓奎 新宅麻美 新穂寿子 菅沼浩子 杉本謙介・静子
 杉本尚司 鈴木メリー 鈴木みち子 鈴木愛莉奈 鈴木富士夫 関根順子 曾我邦子 空野典子 平良喜子
 高木由季子 高崎恵子 高田初穂 高田和恵 高橋明 滝井留都子 滝野正三郎 武井めぐみ 武田静子
 竹延真治 多湖敬子 多治川千恵 伊達道子 田村悠紀栄 田中純子 田中隆子 田辺久義 谷 谷口つね子
 谷口正 谷口八重子 谷本千里 玉田素子 玉手健裕 田村忠夫 Chan Wandu ragale 津田由貴 堤芳子
 寺本和泉 土器屋香代子 徳田昭子 徳山伸子 都倉久子 富田香代 富田寿一 中井恵 永井晃 中尾恵子
 中川克史 中川富子 長瀬三千子 永田貴聖 中谷薫子 中津美喜子 中西真也 中西澄子 中村純子
 中村和子 西田操 西端順子 西村みどり 西本洋子 新田良子 丹生 能勢由紀子 野村あかり 野村季里
 萩原儀一 橋本成年 橋本明美 浜野美枝子 林宏 林良子 春名美典 東美美代 久松由喜枝 久本直子
 平尾孝子 平本利夫 平田ひろみ 廣岡洋子 福井美知恵 福岡いさ子 福岡文代 福嶋美佐子 藤野貞子
 藤林桂子 伏見美和子 藤本雄三 藤保巖 船木ひろ 平内豊隆 ヘイルウツ知子 ペトロ 宝宮佳美子
 坊上信子 本田 マクマスター水島美和 舩野昌子 松浦信子 松尾由佳 松尾里沙 松下真由美 松下智子
 松田聡 松富依子 松本ルカ 松本澄子 丸太セツ子 マリア・コラレス 三嶋敬子 水谷寿々恵 三谷正子
 宮崎雅代 三好サカヨ 村田稔 村田雪江 村本弓子 室橋孝子 目加田裕子 目良徳枝 森由里子 森口耀子
 森重裕子 守田連雲子 森田百合子 森本洋子 八木智恵子 谷地元瑛子 柳克文 山口義彦 山口幸子 山口
 浩三 山下文 山田 山田桂子 山田淑子 ヤマタカヨシハル 山本亜子 山本郁子 山本雅子 山本昌子
 湯崎直子 柚之原寛史 目良 由里宗之 横井美子 吉川敦 吉住映利子 吉谷順子 頼千恵子 リチャード・
 サーティック 渡邊充春 他 匿名の方多数

■ 団体

<カトリック教会>

芦屋教会 網干教会 石垣教会 和泉教会 大阪梅田教会 加古川教会社会活動委員会
紀伊田辺教会社会活動委員会 岸和田教会 岸和田教会社会活動委員会 金剛教会
金剛教会社会活動委員香里教会 鷺沼教会 佐用教会 住吉教会 住之江教会 夙川教会 鈴蘭台教会
関目教会 千里ニュータウン教会 宝塚教会 垂水教会 豊岡教会 豊中教会 なみはや教会 仁川教会
仁豊野教会 日生中央教会 枚岡教会 枚岡教会社会活動委員会 枚方教会社会活動委員会 姫路教会
藤井寺教会 布施教会社会活動委員会 武庫之荘教会 武庫之荘教会社会活動委員会 龍神教会バザー委員会

<その他>

愛徳学園中高等学校 アサンプション国際小学校児童・保護者・教職員 アサンプション国際小学校父母の会
アサンプション国際中学高校 移住者と連帯する全国ネットワーク 王たるキリスト幼稚園 大阪修道女連盟
大阪信愛学院幼稚園 大阪東ロータリークラブ お告げのフランシスコ姉妹会
お告げのフランシスコ姉妹会生野修道院 カトリック社会活動神戸センター カトリック中央協議会
カトリック中央協議会ピース9の会 春日荘聖マリア幼稚園 神戸海星女子学院マリア幼稚園
神戸学生青年センター クリストロア東京第一修道院 甲東平和を考える会
国際ソロプチミスト大阪なにわ 師イエズス修道会 聖マリアの無原罪教育宣教修道会神戸修道院
聖心会小林修道院 聖母被昇天修道会高松修道院 聖母奉献修道会 聖霊奉侍布教修道女会
全国キリスト教学校人権教育研究協議会 旅路の里 CHARM 特定非営利活動法人O B J
中北龍太郎法律事務所 西大和カトリックセンター 日本ジャーナリスト協会
日本バプテスト宣教団池田キリスト教会 認定こども園香里幼稚園 パリミッション女子会
プール学院中高等学校 藤井寺修道院 平和を考える市民の会 マイルストーン総合法律事務所
マリアの宣教者フランシスコ修道会 マリア会明星修道院 ミッションからしだね 善きサマリア人修道会
ルツの会 レクイエム会 ロザリオ幼稚園保護者会親子学級マリア・プリ わかばの会

その他、お米・家電製品など、物品のご寄付もたくさんいただきました。
ありがとうございました。
心より感謝申し上げます。良いクリスマスと新年をお迎えください。

移住者の皆さんからの感謝のメッセージをお届けします!

ITSUMO ARIGATO
GOZAIMASU. 
SUGOI TASKARIMASU.
MUITO OBRIGADO

Muy agradecida por la
ayuda que nos brindan.
¡Que Dios los Bendiga!

බොහෝම ආර්තිය
بسی تشکریم بابت
سهه محبتہايتان



メッセージを送りましょう！！

▶沖縄を忘れない

沖縄県知事へ激励を、内閣総理大臣、
防衛大臣へ、基地建設中止と
そのために使用しようとしている
遺骨混入土砂採取中止を求め、
沖縄の人々が平和で安全な暮らしを
送ることができるように



◎沖縄県知事 玉城 デニー宛

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2
知事公室 広報交流課

◎内閣総理大臣 岸田文雄 宛

〒100-0014
東京都千代田区永田町 2 丁目 3-1 首相官邸

◎防衛大臣 岸 信夫 宛

〒162-8801
東京都新宿区市谷本村町 5-1 防衛省

▶アフガニスタンの人びとのいのちを 助けてください

ハガキと FAX で声を届けましょう！！
アフガニスタン市民の命が危険にさらされている
ことに大変心を痛めています。現地からは助けを求め
る声が続々と入ってきています。また、この日本で暮
らすアフガニスタンの人びとからも、「家族を、友人
を助けてください」と悲痛な叫びが聞こえてきます。
わたしたちは積極的な人道支援をするよう日本政府
に強く求めます。

お詫び:法務省の FAX 番号に間違いがありました。
訂正(誤)03-5592-7393 →(正)03-359-7393

▶ミャンマーの人々の いのちを守ってください シナピスにハガキあります。



ミャンマーの人々のいのちを守り、人道的配慮が
なされるように、引き続き働きかけてまいりましょう。

今年も一年間ありがとうございました。
また、新年もどうぞよろしくお願ひいたします。

シナピス休業と始業のお知らせ

休 12月25日(金)~1月5日(火)
始 1月6日(木)

▽▲▽ シナピスの主な活動 ▽▲▽

◆広報活動

- ・教皇メッセージ、司教団メッセージ等
社会活動の指針の伝達
- ・読者と教会内外の社会活動をつなぐ
機関誌としてシナピスニュースを発行

◆大阪教区・社会活動委員会との連携

◆学習会研修会の企画

◆こども基金

世界・日本のこどもたちへの援助

◆カトリック中央協議会との連携

正義と平和協議会、難民移住移動者委員会、
カリタス、部落差別人権委員会に委員を派遣

◆人権教育の講師を務めるなど教育機関への 働きかけ

◆難民移住移動者支援

難民移住移動者の暮らしやすい社会を目指して

難民移住移動者 相談ダイヤル

☎ 06-6941-4999

アクセス

〒540-0004 大阪府中央区玉造 2-24-22
カトリック大阪大司教区事務局内



公共交通機関ご利用の場合

- JR 森ノ宮駅より 約 1000m
- 地下鉄中央線森ノ宮 2 番出口より 約 800m
- JR 玉造駅より 約 1000m
- 地下鉄鶴見緑地線玉造 1 番出口より 約 800m

車でのお越しの場合

- 阪神高速 1 3 号東大阪線法円坂出口
法円坂交差点南へ上町を東へ

活動へのご支援ご協力をおねがいします

郵便振替 00960-7-61419

加入者名 カトリック大阪大司教区シナピス